



# 恕の心



令和3年10月19日 校長 廣瀬 真樹

## 校外学習行われる！



少し雨が降った時間帯もありましたが、3学年とも楽しく充実した校外学習を過ごすことができました。私は3年生に同行しましたが「みんな本当に楽しむのが上手だなあ」と感じました。そして何より自分だけでなく、友達と一緒に楽しむ姿、声をかけている姿がとても印象的でした。3年生は修学旅行に代わるイベントという事でしたが、今の状況を悲観したり、不満をもつのではなく、楽しみ、プラスに考えていく姿に感心させられました。楽しい一日をありがとうございました。

## 言葉を磨く

いい言葉を聞くと、とてもうれしくなります。同様に自分がいい言葉を話すと、周りの人もうれしくなっていい気分になります。そうやっていい循環が生まれ、いい運がやってくると思うのです。だから僕は、いつも発する言葉一つひとつを大切にしたいと思っています。

いくら努力をしても、自分に風が吹かないときは必ずあります。何をしても裏目に出て、うまくいかないときもあるでしょう。**ダメなときでも、言葉を磨くことで、いい運を引き寄せることができます。**何も話し方を変えるというわけではありません。ほんのちょっとした心がけでできることです。**人生は言葉の積み重ね**です。その都度、どんな言葉を話すかで、終着点も大きく変わると思います。

『ダメなときほど「言葉」を磨こう』萩本欽一著／集英社新書 より

萩本欽一(はぎもと きんいち)さんは日本のコメディアン。大衆からはもとより芸能界でも先輩、後輩を問わず「欽ちゃん」の愛称で呼ばれています。皆さんには「欽ちゃんの仮装大賞」で香取慎吾さんと司会をしていた人といった方が分かるかもしれませんね。

私の家にはこの欽ちゃんの「まいにち運がたまる日めくりカレンダー」があります。ある日の格言に**「運の神様は愚痴が大嫌い」**と書いてありました。解説にはこうあります。

**【愚痴をこぼすのは天につばを吐くのと同じ、必ず自分に返ってきます。不平不満を言わず気持ちをプラスに切り替えられる人。運の神様はそういう人が好きなんです……】**

一度出した言葉はもう元には戻せません。だからこそ気をつけて使いたいものです。言葉磨き……本当に難しいですね。